

SDGs時代の 消費者教育は どうあるべきか?どう進めていくか?



2019年6月24日月

10時20分～16時30分

場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター
国際交流棟1F 国際会議室(渋谷区代々木神園町3-1)

対 象 学校の教員・教育関係者、行政関係者、
企業関係者、消費者教育に関心のある方 等

定 員 180人 (先着順)

参加費 無料

第Ⅰ部

消費者教育教材資料表彰

[企業・行政・消費者団体・NPO]

最も優れた教材には
内閣府特命担当大臣賞を授与

第Ⅱ部

基調講演・取組報告・ ワークショップほか

主 催: 公益財団法人消費者教育支援センター

後 援: 消費者庁、文部科学省、独立行政法人国民生活センター、公益社団法人消費者関連専門家会議、
日本消費者教育学会、ESD活動支援センター(全国センター)申請中

協 賛: 一般財団法人パロマ環境技術開発財団

プログラム

10時00分	受付
10時20分	開会 主催者挨拶

第Ⅰ部 消費者教育教材資料表彰2019 表彰式

10時25分	【表彰式】内閣府特命担当大臣賞等及び優秀賞2019 【選考結果講評】	堀山女学園大学教授 日本消費者教育学会会長 東 珠実
11時25分	【受賞代表によるプレゼンテーション】 内閣府特命担当大臣賞受賞団体、優秀賞受賞代表団体	
12時00分	昼食(受賞作品の展示・情報交換)	

第Ⅱ部 SDGs時代の消費者教育はどうあるべきか? どう進めていくか?

13時00分	イントロダクション
13時05分	【基調講演I】これまでの消費者教育を振り返り、新たな展望を切り拓く 横浜国立大学教授 当センター客員研究員 松葉口 玲子
13時35分	【基調講演II】SDGs時代の本質を踏まえ、これから消費者教育を考える 東京都市大学教授 佐藤 真久
14時15分	休憩(付せん紙による意見の共有)
14時30分	【取組報告①】どうしたら学校現場とつながることができるのか? 横浜市立日枝小学校校長 住田 昌治
14時50分	【取組報告②】地域ではどのように力を出し合えるのか? —SDGs子ども特派員・SDGs子ども見守り隊の取組み 近江八幡市消費生活センター 三浦 薫
15時10分	休憩(付せん紙による意見の共有)
15時30分	【ワークショップ】SDGs時代の消費者教育はどうあるべきか? どう進めていくか? コメントーター: 松葉口 玲子 教授、佐藤 真久 教授ほか
16時30分	閉会挨拶

※プログラムが一部変更になる場合があります。

お申し込み方法 ●下記の必要事項をご記入の上、Webでお申込みください。

<http://www.consumer-education.jp/2019sympo/>

FAXでもお申込みいただけます。
FAX.03-5466-2051

2019年 消費者教育シンポジウム 参加申込書

※参加申し込み期間は4月2日(火)から6月14日(金)までとなります。(先着順)

フリガナ お名前			
ご所属			
ご連絡先	〒 都道府県	<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> ご自宅	
	TEL	FAX	
	E-mail		

※お送りいただきました個人情報は、当シンポジウムの受付と、当支援センター主催のイベントのご案内にのみ使用させて頂きます。



国立オリンピック記念青少年

総合センター

国際交流棟1F 国際会議室

※会場は例年と異なります

◇小田急線「参宮橋」駅(新宿より各駅停車で2つ目)より徒歩約7分

◇千代田線「代々木公園」駅(4番出口)より徒歩約10分

公益財団法人消費者教育支援センター

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1丁目17番14号

全国婦人会館3階

TEL: 03-5466-7341 (代表) FAX: 03-5466-2051

<http://www.consumer-education.jp>